

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

※撮影の時だけ一時的にマスクを外していただいています。

まちかどレポート

災害時に自分たちができることを

宅峰中学校2年生が5月12日、避難所運営訓練を行いました。市職員からアドバイスを受けながら、避難所開設から避難者の受け入れ、備蓄物資の管理・設営まで一連の流れを自分たちで行いました。参加した生徒たちは「災害が発生して避難者が来たら、まずは声かけをして安心させてあげたい」と力強く話していました。



コロナ禍でも、おおむたの「美味しい」「素敵」を全国に



本市では、ウィズ・アフターコロナを見据え、全国発送可能な新商品の開発や既存商品の改良による販路拡大や販売力強化に取り組む事業者を支援する事業を行っています。4月18日に、この支援事業を活用して完成した新商品のお披露目会が行われました。完成した商品の一部は、今後ふるさと納税の返礼品としても活用される予定です。



「どうして石が燃えるの？」

石炭産業科学館では毎年、5月5日の「こどもの日」を無料公開日としています。今年もたくさんの方が訪れ、炭鉱や石炭に関する歴史を学んだり体験したりしました。「石炭で遊ぼう！」コーナーでは、子どもたちが本物の石炭を燃やし、石が燃える様子を不思議そうに眺めていました。



保健センター「らふる」 たくさん子どもたちでにぎやかに

「らふる」のリニューアルイベントが4月23～25日に開催され、多くの親子連れでにぎわいました。赤ちゃん広場では、当イベント限定で赤ちゃんの手形取りがあり、記念になるととても喜ばれていました。今後も「らふる」では、さまざまな育児支援事業が行われる予定です。



九州発！市民の健康意識向上を目指し 「カーブスジャパン」と連携協定

市民の健康づくりを一層進めるために、大牟田市と株式会社カーブスジャパンは、連携協定を締結しました。多くの市民の皆さんが健康的な生活を送れるよう、特定健診やがん検診の受診案内、健康チェックイベントなどを一緒に取り組んでいきます。



障がい者スポーツ大会 5個のメダルを獲得

令和4年度第1回福岡県障がい者スポーツ大会に7名の選手が参加し、計5個（金1、銀2、銅2）のメダルを獲得。代表の3名が市長を表敬訪問し、喜びの声を届けました。（左から、角千加行さん、市長、安樂晶之さん、原田恵太さん）



宮原坑が赤色にライトアップ

5月の「赤十字強化月間」にあわせ、「レッドライトアッププロジェクト」に参加。宮原坑が赤十字シンボルカラーの赤に染まりました。県内では宮原坑のほか「福岡市赤煉瓦文化館」および「小倉城」もライトアップされました。



福岡北九州フェニックスが延命球場に

5月6日延命球場にて、ヤマエ久野九州アジアリーグ公式戦が行われ、福岡北九州フェニックスと火の国サラマnderズ（熊本）が対戦。始球式では、市長と一緒にジャーフも躍動感あふれる投球フォームを披露しました。



手鎌北町公園・原の前公園に 防犯カメラを寄贈

安全・安心なまちづくりに役立ててもらいたいと、公益社団法人大牟田法人会から防犯カメラが寄贈されました。防犯カメラはすでに、公園に設置されており、同会の井形会長は「子どもが元気にのびのびと遊べる公園になれば」と話しました。



民間の専門人材を活用して 効果的なPRや情報発信を

大牟田市と株式会社Another worksは「民間複業人材活用に関する連携協定」を締結しました。今後は、民間の専門的なスキルを持ったアドバイザーの知見や技術を活用して、戦略的なPRや情報発信を行っていきます。